



高浜市やきものの里  
かわら美術館



吉田健  
《S(h)ake!》  
2015年



藤沢レオ《種-素描》2006年



吉田健《GARAPAGOS GIANT TORTOISE》2016年

2021  
7.3 [SAT] → 9.26 [SUN]

# ボン・ブオカーニバル!

鉄・布・ダンボール アートの森へ旅にとよう



藤沢レオ  
《静かな日-はしご-》  
2019年



森迫峻夫  
《かみちま》  
2015年~



森迫峻夫《モノコ》2008年

◎観覧時間 | 10:00から17:00 まで (観覧券販売は16:30 まで) ◎休館日 | 月曜日、火曜日、  
8月11日(水)、9月22日(水) ※ただし、8月9日(月・祝)、9月20日(月・祝) は開館

◎観覧料 | 高校生以上 600円 (480円)、中学生以下無料 ※( ) 内は前売り、20名以上の団体  
料金、または高浜市内居住者 ※75歳以上の方、各種障がい者手帳をお持ちの方ほか、割引あり

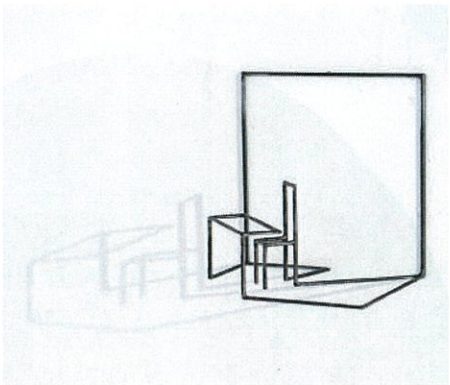
◎主催 | 高浜市やきものの里かわら美術館 ◎後援 | 愛知県教育委員会、高浜市、高浜市教育  
委員会、高浜市観光協会、名古屋鉄道株式会社 ◎企画制作 | 株式会社 MIMOseele



# ボン・ヴォヤージュ!

鉄・布・ダンボール アートの森へ旅によう

異なる素材で作品制作を行う3名の作家、藤沢レオ、森迫暁夫、吉田傑の企画展です。森をイメージした会場では、実物大の生きものからそれらを取り巻く自然・空間をモチーフにした作品を紹介します。ボン・ヴォヤージュとは、フランス語の挨拶です。「bon=良い」、「voyage=旅」を意味し、快適な旅路や新しい出会いを願い旅人に呼びかけられる言葉です。本展は、鑑賞者を旅人、会場を森に見立て、アートの森を旅することで観る・触れる・感じる喜びを親子で楽しむ夏休みの展覧会です。生死を題材に鉄や水糸を用い、場の存在を表現する藤沢レオ。動植物を題材に、シルクスクリーンによる版画技法を活かして、生生流転を表現する森迫暁夫。ダンボールを駆使して、実物大の動物を作り、動物の皮膚や毛の質感までも表現する吉田傑。生きものたちや自然の描写が、素材によって多彩な表情を見せ、旅する私たちを魅了することでしょう。一つひとつの作品を鑑賞した時と会場全体から鑑賞した時。木が集まり、大きな森になるように、個性的な作品が集結することで、さらに大きな景色を見せてくれます。会場に足を運ばれた方々にとって、本展が良い旅路でありますように。ボン・ヴォヤージュ!



藤沢レオ《静かな日-机と椅子-》2019年



森迫暁夫《ネタクマノマクタネ》2016年



吉田傑《屏風の虎》2013年

## 関連イベント

●出展作家によるワークショップ ※下記ワークショップ参加者は、当日観覧券が300円(中学生以下無料)になります。

「新聞シルクスクリーンでトートバッグをつくらう!」

日時 | 7月3日(土) [受付開始: 6月3日]  
①10:00~②11:30~③14:00~④15:30~  
講師 | 森迫暁夫(イラストレーター・美術家)  
場所 | 陶芸室 定員 | 28名(7名×4回)  
対象 | 小学生以上  
※新聞紙を用いた布製バッグの版画体験です。

「なりきり! どうぶつマスク」

日時 | 8月1日(日) [受付開始: 7月1日]  
①10:00~②11:30~③14:00~④15:30~  
講師 | 吉田傑(造形作家)  
場所 | スタジオ  
定員 | 32名(8名×4回) 対象 | 小学生以上  
※ダンボールを用いた工作体験です。

「鉄たたくます。」

日時 | 8月22日(日) [受付開始: 7月22日]  
①10:00~②11:30~③14:00~④15:30~  
講師 | 藤沢レオ(金属工芸家・彫刻家)  
場所 | 森前公園、スタジオ  
定員 | 20名(5名×4回) 対象 | 小学生以上  
※鉄を用いたキーホルダーの制作体験です。

500円  
申込: TEL 0566-52-3366

●鑑賞を体験せよ-展示室での演劇体験- アートの森の仮面の宴

日時 | 7月10日(土) 16:30~18:00  
講師 | 伽羅(即興演劇集団 フリーフライツ!!)  
場所 | 3階講義室、閉館後の2階展示室 ※付き添いの入室不可。  
定員 | 15名 対象 | 小学生以上 映像制作: ライフワークス  
※ワークショップの様子を撮影・録音して公開します。ご了承の上ご参加ください。ワークショップの初めにお面を作りますので、マスクとお面で顔は隠れます。[受付開始: 6月10日]

●ラスコー洞窟に描かれた動物たち  
: フランス旧石器時代の洞窟壁画

日時 | 8月15日(日) 14:00~16:00 ※講演後サイン会あり  
講師 | 五十嵐ジャンヌ(東京藝術大学非常勤講師)  
場所 | 1階ホール 定員 | 50名 対象 | 小学生以上  
[受付開始: 7月15日]

無料  
※要観覧券  
申込: TEL 0566-52-3366

●オープニング・エンディング演奏  
ウクレレを弾いてみよう!

日時 | 7月4日(日) 10:00~12:00、  
9月26日(日) 15:00~17:00  
場所 | ロビー(演奏: 開始30分)、  
スタジオ(ワークショップ1時間30分)  
定員 | なし 対象 | ワークショップは小学校  
高学年以上 申込 | 不要  
ウクレレをお貸しします(15台まで)。  
※ウクレレでの演奏会及びワークショップです。

●旅するショートフィルム

日時 | 9月4日(土)、5日(日)、18日(土)、  
19日(日) 14:00~15:00  
※プログラムによって1時間未満の可能性あり  
定員 | 20名 場所 | シアター  
作品提供 | 株式会社ビジュアルボイス  
※9月19日(日)のみ、映画を見た後に参加者  
で感想を語る会を開催。  
[受付開始: 8月4日]

●ボン・ヴォヤージュ! ×屋根の日  
北海道の文化ローソクもらい

日時 | 8月8日(日) 16:00~18:00  
定員 | 15名 対象 | 小中学生限定  
A・Bの2ルートあり  
場所 | 3階講義室、美術館周辺  
協力 | 三州瓦工業協同組合、高浜市  
商工会  
[受付開始: 7月8日]

●ギャラリートーク

日時 | 7月17日(土)、8月14日(土)、  
9月12日(日) 各回 14:00~  
場所 | かわら美術館 2階展示室  
申込 | 不要

●ようこそ! はじめてさん

会期中の毎週木曜・日曜日は「ようこそ!  
はじめてさん」の日です。赤ちゃんや小さ  
なお子さんと保護者の方々は、周囲に気  
兼ねなくご観覧ください。



@m\_kawara  
@kawara.museum



〒444-1325 愛知県高浜市青木町九丁目6番地18  
TEL (0566) 52-3366 FAX (0566) 52-8100  
http://www.takahama-kawara-museum.com/  
※新型コロナウイルス感染予防対策のため、各種イベントの中止や開館時間の変更、休館の可能性あり。



電車でお越しの方

◎名鉄三河線「高浜港」駅下車徒歩約10分  
名鉄名古屋本線「知立」駅またはJR東海道本線「刈谷」駅で  
名鉄三河線碧南行に乗り換え

車でお越しの方 ※駐車場無料

乗用車: 100台 バス: 第1駐車場(P1)1台、第3駐車場(P3)5台

名古屋方面から ◎知多半島道路阿久比インターから約15分  
◎国道23号(知立バイパス)西中インターから約20分  
豊橋方面から ◎国道23号(知立バイパス)高棚福釜インターから約15分



# たかしま文化

高浜市文化協会創立50周年記念事業

## 芸能発表会

**入場無料!!**



特別ゲスト  
梓 夕子 歌謡ショー

と き：令和3年11月14日(日)  
午前9時30分開場 午前10時開演

と ころ：高浜市地域交流施設「たかぴあ」

※会場のメインアリーナは土足厳禁ですので、ご来場の際はできるだけ「上履き」をご持参ください。

賛助出演：高浜高校吹奏楽部  
瑞浪市文化協会  
えんちよこ獅子



主催：高浜市文化協会

後援：高浜市・高浜市教育委員会  
(株)キャッチネットワーク







## 作品は雄弁に物語る

高浜市教育委員会教育長 岡本 竜 生

文化協会の皆様には、春日の森市民俳句・短歌・川柳の集いをはじめとして、様々な形で小中学生がお世話になっております。ありがとうございます。

さて、文化協会の皆様の作品が、遠いブルネイという外国の地にある多くの学校で、展示され親しまれていることをご存じでしょうか。中学生海外派遣事業で現地にて、ブルネイの学校と高浜市の派遣団が交流会をするときの、交流記念品として寄贈するために提供いただいた作品群です。平成24年度の村松輝一氏の切手アートを皮切りに、加藤一次氏の書、岡本司氏の水彩画、岩月和子氏の創作アプリケ、森克徳氏の香炉と続きました。6年目以降も岩月妙子氏のパッチワークタペストリー、神谷香代子氏の日本画、神谷浩造氏の風景写真と令和元年度まで続けることができました。村松会長さんをはじめとした、文化協会の皆様の温かい心遣いがあったからこそ実現したことです。感謝に堪えません。

私も平成25年度に、派遣団の団長として加藤氏の書を持ってブルネイを訪れました。「山僧活計茶三畝漁夫生涯竹一竿」という作品でした。身の丈に合った生活が大切で、贅沢を戒めたものであると作品の意味を伝えると、現地のマハラジャ校のモナリザ校長が「今は裕福なブルネイであるが、これからのブルネイには必要な考えです」とうなずきながら話されました。そのときの表情を今でもはっきりと覚えています。作品を通じたものの考え方の交流、これもまた文化交流の一つの姿であると確信した瞬間でした。縁あって海を渡った文化協会の皆様の作品が、今もブルネイという国の現地の人々に、何か大切なものを伝え続けていると考えると、高浜市民として大変誇りに思うことができるわけです。



## 今やれる事 それが次の世代への文化の伝承

高浜市文化協会 会長 村松 輝 一

毎日の生活をただ漠然と生きているのではなく、目的を持って毎日を有意義に過ごす事がいかに大事か、現在インターネットの時代でも予想が出来なかった新型コロナウイルス感染症事情で世界中が生命の危機に襲われていますが、自粛ムードが長引けば人間のやる気も失われる、そんな時代に果たして高浜市文化協会会員として何が出来るか、それは多くの行事が中止されて人との交流が抑えられ外出が控えられて家にいる時間がある時こそ、一人でも出来る作品の制作活動や図書館等に通い、自分の為の知識を貯金する絶好な機会と思い、自己研鑽することが大事だと思います。

かつて、たかはまアーカイブスの取材で伺った当時95才だった男性から約1時間昔の仕事等の話を聞き書きしていました。そんな中、突然95才の方から逆に「人間は何のため生きているのか」と質問され、少し考えて「いろんなことを次の世代に伝える事」と返事をすることがあります・・・只いうのだけではダメで実践しなければ意味がありません。いかに人の為又自分・社会の為に生きた証として何が残せるかそうした活動こそ、それが生きがいにも繋がり認知症予防にな

ると思って日々走り回りパソコンの画面とにらめっこしながら日々の記録として残しています。

切手アートとたかはまアーカイブスは一見関係ないように見えますが、そもそもアーカイブスに興味を持ったのは高浜市内のレンガ造りの煙突や瓦工場が消えていく姿を20年位前に見つけ残さなければいけないと気づき撮りためて来ました。そして、約10年前から吉浜まちづくり協議会広報部の活動として貴重な古い写真探しが始まり、市役所等公的機関・企業や個人からのご協力もあり、約10万枚の膨大な写真や情報が集まり、それを使いたかはま文化の今昔物語や広報たかはまのアーカイブの記事として掲載、また高浜に関する画像のデータバンクとしてマスコミ・出版関係等に対応しています。

文化協会会員がそれぞれの作品や技を次の世代へ伝える事が文化協会関係者として大事なことはないだろうか。

※令和3年12月で高浜市文化協会創立50周年を迎え記念行事を予定していますのでお出かけ頂ければ幸いです。



**令和2年度 収支決算報告書 (単位:円)**

収入の部		支出の部	
項 目	決算額	項 目	決算額
前年度繰越金	61,449	事業費	412,071
正会員会費	406,000	会議費	27,830
賛助会費	868,000	印刷費	185,102
高浜市補助金	639,000	渉外費	150,860
鬼みちまつり 実行委員会	0	慶弔費	5,000
わくわくフェス ティバル売上金	0	通信費	82,550
春日の森 記念品代	20,000	事務費	56,980
新年度事業 準備金	100,000	給与費	600,000
参加者負担金	31,000	積立金	200,000
OA機器購入費	270,000	印刷機リース代	132,000
雑収入	30,008	OA機器購入費	270,000
合 計	2,425,457	新年度事業 準備金	100,000
		時間外手当	100,000
		雑 費	11,184
		次年度繰越金	91,880
		合 計	2,425,457

**令和3年度 収支予算書 (単位:円)**

収入の部		支出の部	
項 目	予算額	項 目	予算額
前年度繰越金	91,880	事業費	490,000
正会員会費	330,000	50周年 記念文協祭	2,000,000
賛助会費	700,000	会議費	35,000
高浜市補助金	639,000	印刷費	180,000
鬼みちまつり 事業費	35,000	渉外費	150,000
わくわく フェスティバル	35,000	慶弔費	20,000
春日の森 記念品代	20,000	通信費	100,000
50周年 記念事業費	2,000,000	事務費	100,000
新年度事業 準備金	100,000	給与費	600,000
参加者負担金	100,000	積立金	0
雑収入	10,000	印刷機リース代	130,000
合 計	4,060,880	OA機器購入費	30,000
		新年度事業 準備金	100,000
		時間外手当	100,000
		雑 費	25,880
		合 計	4,060,880

**令和3年度 事業計画書**

1. 会議に関する事業

- ①定時総会の開催 令和3年 4月17日
- ②常任理事会の開催 随 時
- ③理事会の開催 随 時
- ④四役会の開催 随 時
- ⑤編集委員会の開催 年6回

2. 県・西三文協の実施事業

- ①西三文協連絡協議会 令和3年 4月21日
- ②県文連理事会(総会) 5月28日
- ③県文連第46回美術展事務処理委員会 6月24日
- ④県文連西三河部芸能大会 9月26日
- ⑤県文連第46回美術展(公募) 9月22日~26日
- ⑥県文連愛知県民茶会 10月17日

3. 本会の主催する事業

- ①大山桜ものがたり  
令和3年 コロナ禍で企画中止
- ②瑞浪文協交流会(賛助出品) 6月19日~20日
- ③春日の森市民俳句・短歌・川柳の集い 11月13日
- ④第50回文協祭 会員展 11月13日~12月12日

⑤創立50周年記念選抜美術展・お茶会等

令和3年 11月17日~21日

⑥創立50周年記念芸能大会 11月14日

⑦創立50周年記念誌発行 令和4年 3月1日予定

4. 広報に関する事業

- ①会員用「たかはま文化」の発行 年2回
- ②ブログによる情報発信 随 時
- ③FBによる情報発信 随 時

5. 発表に関する事業

- ①会員による作品展示会
- ②部会による発表会・研修会・展示会・練成会他

6. その他の事業

- ①社会貢献活動
- ②高浜市中学生海外派遣交流記念品協力 未 定
- ③文化講座の開講
- ④鬼みちまつり 令和3年 10月16日
- ⑤わくわくフェスティバル 11月予定
- ⑥後援依頼受付 随 時

※尚、新型コロナウイルスの関係で、事業などが中止・延期になる場合がありますので御了承下さい。



## 賛助会員から一言

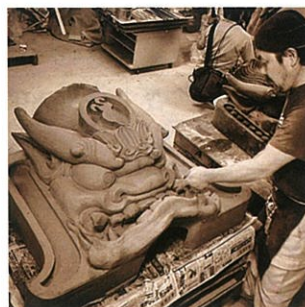
## 日本の景観を創る仕事

鬼十 服 部 秋 彦

かつては屋根と言えは瓦（いぶし瓦）、そして棟端には鬼瓦が定石でした。しかし時代の流れと共に、そこに住まう人々の生活様式、嗜好の西洋化が進み、残念ながら昔ながらの趣のある日本の原風景、瓦屋根の景観が急速に失われつつあります。当然、粘土瓦業界も大きな影響を受け、自分の仕事も一般住宅関連は激減、社寺仏閣の鬼瓦への依存度が高くなってきました。

そんな中、ご縁有って宮内庁や国宝、文化財復元等に関わる機会も度々いただきました。物件の性格上、製作途中、最終での検査が有りますので高い復元技術と専門知識をも要求されます。日本の伝統文化・技術

を未来に伝える、ある意味、責任重大な仕事です。今後もそれに対応できるよう精進して行きたいと思えます。



知恩院御影堂の鬼面の復元



西尾城隅櫓の鯨の復元



### YASUKO BALLET 30周年記念 創作バレエ「はてな？」& バレエコンサート 2021

- 日 時 9月25日(土)
- 会 場 刈谷市総合文化センター  
アイリス 大ホール

### 県文連 西三河芸能大会

- 日 時 9月26日(日)
- 会 場 碧南市文化会館ホール

### 県文連 第46回 美術展(公募)

- 日 時 9月22日(水)～9月26日(日)
- 会 場 愛知県美術館ギャラリー

### 第29回 春日の森市民俳句・短歌・川柳の集い

- 開催要項
- 投稿内容：季題自由 3句以内（未発表作品）  
一般の部（高校生以上）及び小中学生の部
  - 投稿方法：投稿用紙で投稿すること

### 編集後記

昨年の「たかはま文化」を開くと、編集委員のマスク姿の集合写真があり、将来この時代背景が判るように！と、写真を撮った記憶が。同時に、1年経った今でも変わらぬ姿に、何とも言えぬ感情が。

### ○投稿箱設置場所：

たかびあ・吉浜公民館・高取公民館・  
翼公民館・女性文化センター・  
いきいき広場・吉浜ふれあいプラザ・  
高浜南部第二ふれあいプラザ

### ○締切り：9月6日(月) 厳守

○選 者：永井江美子先生・佐野美恵先生・  
中根のり子先生

### ○発 表：11月13日(土) 午後2時～4時

かわら美術館 1階ホール前にて  
※コロナ禍により今回表彰式は行いませんので、ホール前受付にて賞状等手渡しします。(一人一賞)

### 第50回 文協祭 会員展

- 日 時 11月13日(土)～12月12日(日)
- 会 場 かわら美術館モノコトギャラリー

### 高浜市文化協会創立50周年記念選抜美術展・お茶会等

- 日 時 11月17日(水)～21日(日)
- 会 場 かわら美術館 ホール他

※尚、新型コロナウイルスの関係で、事業などが中止・延期になる場合がありますので御了承下さい。

不要不急と言われて久しいが、文化を「楽しむ」「続ける」「伝える」どれも大事だけど、どれか欠けそうな時代が早く収束することを祈念します。

(杉浦 康憲)